# JAMSTECにおける データへのDOI付与の進展

国立研究開発法人海洋研究開発機構付加価値情報創生部門 地球情報科学技術センター 研究データ公開技術グループ

福田 和代

### JAMSTECにおけるデータへのDOI付与

- JAMSTECでは2017年度から研究データの発見・アクセス向上のため データへのデジタルオブジェクト識別子(DOI)付与を促進
- 本発表では、最近取り組んでいる下記コンテンツへのDOI付与について 紹介
  - クルーズレポート
  - 生物多様性データセット

プレフィックス	DOI付与開始	対象	<b>件数</b> 2022/10/31時点
10.17596	FY2017	データカタログ データブック	
	FY2018	航海情報	2,483
	FY2019	各部署データベース	
	FY2022(試行中)	クルーズレポート	
10.48518	FY2021	生物多様性データセット	12

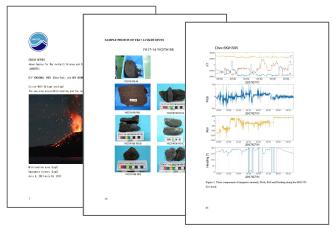
## クルーズレポートへのDOI付与

#### クルーズレポートとは

研究調査航海に関する成果の速報

航海の概要

- 一 航跡図
- 観測・採取・分析方法 機器の写真・配置図
- 観測•採取•分析結果
- ー データの表・グラフ・ サンプルのスケッチ・写真



YK17-14 Leg1, YK17-14 Leg2 に関 するクルーズレポート

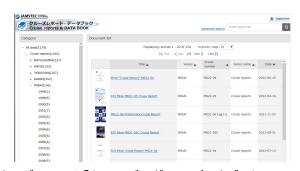
#### クルーズレポートと航海情報の関係

クルーズレポートは

- 既に航海IDの単位でDOI付与を進めている航海情報の一部
- 単一航海を記載するケースと複数航海を記載するケース有り

### クルーズレポートの公開

- 航海終了後約2か月でカタログシステム 「クルーズレポート・データブック」から PDFファイルとして公開
- 1990年代以降の航海に関する約1,100件



カタログシステム「クルーズレポート・データブック」 https://www.godac.jamstec.go.jp/cr\_catalog/view/base?lang=en

## クルーズレポートへのDOI付与(続き)

#### DOI付与のニーズ

■ 論文執筆者:論文における引用

■ 公開担当者:アクセスの利便性向上・引用状況の把握

#### DOI付与方針

クルーズレポートの特性とニーズを考慮して

- 航海IDとは別のDOIをクルーズレポートに付与
- 航海IDとクルーズレポートの関連性をクルーズレポートのDOIメタデータで明記



YK17-14 Leg1, Leg2 に関する クルーズレポート DOI:10.17596/0002468

related content

航海情報 YK17-14 Leg1 DOI:10.17596/0001690 航海情報 YK17-14 Leg2 DOI:10.17596/0001691

### DOI付与作業

- 現在
  - DOIメタデータの作成効率化のため航海メタデータを管理するシステムを改修
  - 作成したXMLを用いてDOI付与を試行中
- 今後
  - ◆ 公開済みおよび今後公開するクルーズレポートに順次DOI付与を予定
  - PDFファイルにもDOI情報を記載し、公開済みのPDFファイルは順次差し替え予定

#### さらに

● 航海に関するデータについて様々な粒度でのDOI付与を検討予定

### 生物多様性データセットへのDOI付与

**BISMaL** 

https://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/

#### 国際的DBとの連携









BISMaLのデータセットは国際的な多様性データベース (OBIS、GBIF)に提供される

これまでは、GBIFに格納されてはじめてDOIが付与される運用であった

BISMaLのデータセットメタ情報管理において、独自のDOIが付与可能となり、データ提供者がDOIを含む引用情報を作成可能となった

データ提供者自身による研究広報の利便性が向上



JAMSTEC

環境省生物多様性センター 海上保安庁情報部 水産総合研究センター 市民科学活動